CO-SHA Platform
アドバイザープロフィール

CO-SHA Platformウェブサイト
https://www.mext.go.jp/co-sha/

カミモト トヨアキ
神本 豊秋

所属

株式会社再生建築研究所 代表取締役
東京大学 協力研究員

略歴

1981年大分県生まれ。近畿大学九州工学部建築学科を卒業し、8年間青木茂建築工房に勤務。2012年神本豊秋建築設計事務所を設立。同年より東京大学生産技術研究特任研究員(川添研究室)として、約100年ぶりの東京大学総合図書館の再生に従事。再生建築の研究を行う。 2015年に株式会社再生建築研究所を設立。2018年より企画・再生したミナガワビレッジにて入居運営を開始。主な講師歴として、東京大学、東京都市大学、日本大学 等がある。受賞歴に住宅建築賞、日本建築学会作品選集新人賞、これからの建築士賞、東京建築賞一般一類部門優秀賞、リノベーション賞、2021年度グッドデザイン賞ベスト100、日本空間デザイン賞2022 入選、2023年度グッドデザイン・ベスト100、BELCA賞（ロングライフビル推進協議会）、九州建築賞　受賞等。

アドバイザーとしての専門分野

再生建築、検査済証未取得物件の再取得、合理的な耐震改修、他施設との複合化に関する法解釈、長期修繕計画の見直し、デザイン性の高い耐震改修、仕組みの提案、違法建築の適法化、既存不適格の維持、一団地認定建築の再整理、防災設計、環境設計、既存不適格建築の増改築、用途転用、エリア再生、テナント誘致

これまでの主な学校支援・助言実績

東京大学の総合図書館再生 東京大学特任研究員(設計実績)
建築基準法制定前の1903年に竣工した総合図書館の書架拡大に伴う保存再生。東京大学は当時100万冊の貯蔵スペースを4倍にする増築を計画していた。既存の図書館にあった5層の吹き抜け空間を残した状態で貯蔵スペースを獲得するには建築法上、吹き抜け空間の是正が必要であった。また、吹き抜けをの大空間を残すため、既存建物と切り離して増築する案もあったものの、本を持って一度屋外に出て行き来が必要となる点が課題となり、長年計画が進んでいなかった。図書館を象徴する吹き抜けの大空間は残し、図書館と増築部を行き来できる動線を屋内で確保した設計とスキームを提示。基本設計から携わり、歴史的空間の既存不適格の維持と、増築部から直接総合図書館にアクセスできる計画として再生した。

東京工業大学の寮再生(コンサル実績)
一団地認定により違法建築として長年活用されていなかった寮を再生。敷地内の建物や、法的条件の再整理を行うことで、用途変更や増改築を行って再生した。

対応可能学校種

小学校, 中学校, 高等学校, 義務教育学校, 中等教育学校, 特別支援学校, 大学